

一、原子力船「むつ」による船舶炉研究のあり方については、

政調会の中に検討委員会を設け、中止を含め昭和五十九年八月三十日を目途に検討することとする。  
政府の意見を聞き

二、「むつ」の廃船の場合にも、関根浜新港において、これを  
行うこととし、その建設を進める。

三、ただし、新港の全体計画は「こ」の検討委員会における検  
討内容、他用途利用の見送り及び地元の意向と総合勘  
案して、党四役が改めて決定することとし、当面、昭利

五十九年度予算において、いかなる場合にも必要となる

部分に限り建設を行うこととして、最小限の所要額、

四十・五億円

を計上する。

四. 行政サービスの検討委員会の検討結果を具体化するため

政府においても科学技術等に調査費を計上し、新港全体  
計画の具体案の作成等を検討させる。